

2013/
4月6日記録

NPOふくてっく定例会

司会 松本 会員
場所 大阪市立社会福祉センター

* 事務局報告 *

中北 会員

- ① 本日午前中に「第1回20周年記念協議」をおこないました。後でご報告します。・・・畑会員
- ② 3/16「今後の木工活動協議」をおこないました。・・・小川会員
参加者8名で今後のふくてっく木工活動のあり方や他部会とのコラボ協力を確認しました。その中で新たな試みとして「ものづくりのつどい」という場をもうけ“ものづくり”に関わる広い視野をもって話し合える場を設けたいと思います。3か月に1回集まる予定。会員全員にインフォメーションをながしますので、どなたでも参加してください。
次回は6/22、場所は関西照明協同組合（谷町4丁目）、時間は15時～17時です。
- ③ 会報84号発刊に向けてご協力をお願いします。・・・清水会員
秋岡会員・和泉会員には連載原稿をお願いします。各部会のリーダーの方は活動報告を
- ④ 畑会員の叔母 畑ミサエ様より40,000円の寄付をいただきました（3/2）。ありがとうございました。
- ⑤ 6月定例会の前に運営会議を実施する予定。

* 回覧資料紹介 *

別紙による

* 学習会 *

13:50～15:20

「第三者として、福祉現場への関わり」

李 氏 NPO法人 日本福祉文化研究センター

NPOを大阪府で認証を受けていたが、途中から内閣府から認証を受けています。兵庫県で第三者評価のモデル事業を実施した。研修参加の資格が難しい。兵庫県は社会福祉士の資格があっても現場経験が必要。学識経験者には講師は入らない等難しい。事務作業が膨大になった。情報公表の作業が大変。財務省と厚労省と結託して税金が過去5年間にさかのぼり請求があった。社会福祉士というコア（大学で講師が出来るメンバー）があった。会の理事会や定例会を定期的に関することは無い。

地域福祉・異業種交流 成年後見も視野に 利益相反 困難事例を対象にしたい、例えば、両親が高齢+子どもが障がい者 個人で無く、法人後見を実施していく。

きたに和子：社会科の非常勤講師・地域でNPOを立ち上げた・障害者自立支援法により作業所（事業高1千万）国税は無いが事業税・府民税等は大変。福祉サービス第三者評価・情報公開・地域密着型サービス（GH等）・権利擁護等

・「第三者評価について」評価機関はワムネットから見る事ができる。GHの第三者評価を義務化されたが費用負担が大変。第三者評価を相対評価や絶対評価にするか難しい。

評価することによって、あなた方のお手伝いをしている、それによって利用者の権利を擁護することになる。

第三者評価と監査と間違えて理解していた。コミュニケーション能力が必要。

情報公開に関わることで、調査者の観察力のレベルが上がった。アンケート調査により、気づきを促すようにコメントを記入している。兵庫県は独自性が強い県なので、

- ・権利擁護に視点を強く打ち出す。
- ・福祉サービス第三者評価のオプション、同法人の事業所を受ける時は割引
- ・第三者評価は事実を見ては評価、地域密着サービスの評価は文章のみで評価するのでアドバイスになる。
- ・プラス思考の文章に書き換えている。評価者同士の相性も難しい。地域密着のキーワードとなっているが、それをサポート体制ができていないので、小規模であり難しい。経験年数があっても、給料があがらない。

終の棲家の課題、医療との連携が問題。 評価調査に行く人間がどれだけ引出し・知識・体験があるかによるかが大切。

医療と福祉の組織連携体が違う。職員としての権利擁護：組織の危機管理をもつ。自分の権利を守る、その為に知識を持つ。

1. 住環境研究部会

畑 会員

部会予定： 日 時：4月27日（第4土曜日） 15:00～

テーマ：「孤独死」つづき 場 所：1階情報センター内市民交流コーナーを予定しています。

後日メールで連絡します。

2. 研修部会

鎌田 会員

4/6(土) 10:00～ 「パソコン教室の案内」中止

来月の開催は後日連絡します。

3. 福祉用具部会

古場 会員

下半期の事業計画は「モノづくりの復活」福祉用具に限らず、物をつくる喜びを復活する。

足踏み式車椅子等福祉用具の情報があれば発信します。

4. 東大阪部会		清水 会員
<p>① 3月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は7日間(3/7・13・14・21・25・28)延べ13名活動。</p> <p>② 3月14日18:30~20:00 東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成 施工業者向け講習会 講師/鎌田・春岡・山田</p> <p>I. 申請等について、変更される内容 II. 住宅改造費助成事業申請の注意点 III. 住宅改造計画時の動作等の確認事項</p> <p>③ 3月28日18:30~20:00 東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成 ケアマネ向け講習会グループワーク 講師/メンバー9名 アシスト/2名</p> <p>I. 住宅改造費助成事業申請の注意点 II. 申請等について、変更される内容 III. 図面の読み方・用語の意味</p> <p>④ 3月23日13:00~17:00 大阪市立社会福祉センター104号室「活動検討会」開催、参加者11名 事例検討及びH25年度活動準備等 17:30~22:00 激励会</p> <p>4月20日 検討部会はATCふくてっく事務局で実施します。</p> <p>★ワンポイントアドバイス 小川会員 : テーマ「住宅改修(初級編)」 玄関・トイレ・浴室について話をします。まず玄関上がり框昇降に掴まるものが必要となっても、手すりの取付け方は対象者の身体状況や動作によって様々な方法があります。必要な所などところの壁がしっかりしていなくても、下地板を使用することで概ね対応できます。手すりを計画する時はマスキングテープ等でイメージして頂くようにしています。その他、浴室・トイレ等の手すりの取付けについても様々あります。</p>		
5. こむねっと事業部会		中北 会員
<p>1. こむねっと部会 3月16日、23日に開催 参加計18名 新たな事業企画その他について報告と意見交換</p> <p>2. 福祉サービス第三者評価</p> <p>① スバル・トータルプランニング第三者評価業務を完了し、大阪府の推進機構に報告。</p> <p>② 3月6、7日 全社協主催の評価調査者継続研修に参加。</p> <p>③ 障害者総合支援法の概要が固まる。</p> <p>3. SCP研究会 企画資料を取りまとめ中。 外部参加者を含め、会費制の研究会とする予定。</p> <p>4. 障害者主体の住宅改造事業 研究課題を精査中。 総合支援法においても重要視される地域移行支援にからめ、いくつかの事業所に計画を勧奨。</p> <p>5. 東大阪市若江岩田の工場リノベーション計画 既存建屋の安全性確認調査報告を完了。</p> <p>6. 遅れていた特建定期検査報告を完了。</p> <p>7. 社会連携事業</p> <p>① 真友会PJ 3月11日大阪NPOセンターからコンサル派遣を受ける。 3月18日コンサルの助言を踏まえ、計画を仕切り直し。 3月25日F医師と計画検討 次回4月15日から新体制で計画実施へ。</p> <p>② 有ボ連 3月13日月例会 次回は4月17日</p> <p>③ その他 あべのAICHAN 宅老連 などこ庵ほか 特に進展なし 5月25日大阪障害者自立協会主催 あべのおにごっこ</p> <p>*部会予定 4月20日(土) 場所・時間未定 テーマ:新規事業の具体化と部会リーフレット改訂、その他</p>		
ひとことタイム (会員による個人の情報発信コーナー)		
なし		
グループミーティング (テーブル毎にフリートーク)		
20周年記念事業について:清水・佐久川・小川・畑の4名参加。①20周年記念期間を1年に定め、その中でふくてっくを考えるきっかけ		
初参加者の感想 (初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください)		
なし		
次回例会の司会予定	司会: 光川会員	五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。
平成25年5月11日		予定: 山本会員 秋岡会員
次回以降の予定		
<p>・5月11日(土)13:30~17:00頃 会場:大阪市立社会福祉センター ■学習会 (仮)「高齢者・障害者の暮らしと地域~空き家・空きビルの福祉転用~」 講師:森 一彦氏(大阪市立大学 生活科学研究科・福祉環境学教授)</p> <p>・6月1日(土)13:30~17:00頃 会場:大阪市立社会福祉センター(予定)</p>		

■学習会 福祉用具部会発表